

令和 6 年度 第 3 回 中城御殿跡地整備検討委員会

# 中城御殿の展示コンセプト

1. 中城御殿の施設設置の目的
2. 管理運営体制について
3. 中城御殿の展示コンセプト（案）
4. エリア別展示構成
5. 表御殿西側エリア展示構成（案）
6. 首里城城郭内との展示の連携について

# 1. 中城御殿の施設設置の目的

## ■目指すべき姿

- ・ 首里城や円覚寺跡、松崎馬場などと一体的な整備を行うことで、歴史的風致景観の創出や首里城公園全体の魅力向上を図る。
- ・ 体験学習施設（社会教育施設）を整備し、展示、体験、講座、交流や、歴史資料等の収集、保存、調査研究などを通し、教育普及の場として、琉球の歴史・文化の継承に寄与する。
- ・ 首里のまちの拠点施設として、首里に関連する歴史・文化を体験紹介する場の創出と、地域における伝統文化の継承促進及び愛着や誇りの醸成、地域への周遊促進などに寄与する。

## ■中城御殿の役割

### 首里城公園全体の魅力向上 (歴史的風致景観の創出)

- 城郭内にあった美術工芸品や、尚家関係資料等の展示・収蔵
- 歴史的風致景観の連続性や公園全体の回遊性の確保
- 公園利用者へのサービス向上と満足度向上
- 首里城への眺望景観の確保

### 首里のまちの拠点施設 (まちの紹介、文化継承・周遊)

- 首里城公園の案内、情報発信(首里城、中城御殿、円覚寺他)
- 地域文化の体験、継承の場
- 地域の人々と来訪者の交流の場、地域への周遊拠点

### 琉球の歴史・文化の体験学習 (展示・体験・講座・交流)

- 王家ゆかりの屋敷である琉球建築・庭園の体験
- 首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できる物語性のある展示
- 琉球の歴史・文化の発信・体験・学習・継承

### 展示・収蔵施設としての役割 (資料収集、保存、調査研究)

- 歴史資料等の収集、保存、展示及び公開
- 歴史資料等の調査及び研究
- 研究会等の開催や成果の公表
- 各種活動を通じた教育普及

## ■主な展示予定資料

火災前、首里城城郭内で展示・収蔵していた美術工芸品等



沖縄美ら島財団所蔵

国宝・琉球国王尚家関係資料等(那覇市所有)



那覇市歴史博物館所蔵

借用資料(企画展等)

【沖縄県立博物館・美術館】  
【沖縄県立芸術大学】  
【埋蔵文化財センター】 など

・井伊文子氏寄贈資料、  
鎌倉芳太郎資料、  
関連する出土遺物 など

## ■周辺施設との連携

### 首里城公園

歴史公園として施設の鑑賞・見学がメイン。公園全体で琉球の歴史・文化の魅力を一連のストーリーのなかで体感する。また、歴史的風致景観への配慮、地域の交流や次世代を担う子どもたちへの歴史文化に対する意識醸成に寄与する。

#### 首里城(城郭内)

- ・ 首里城の建造物が展示物
- ・ 琉球王朝の歴史・文化に関する展示や行催事  
※前回復元テーマ

#### 中城御殿

- ・ 琉球王家の屋敷、生活・文化の展示・体験
- ・ 首里城や王国文化遺産の実物展示
- ・ 首里地域の紹介

#### 首里杜館

- ・ 琉球文化を包括的に発信
- ・ 王国前史～現代の営みまで発信
- ・ 城郭内復元とあわせた「見せる復興」



琉球・沖縄の歴史文化を伝える施設



### 博物館施設

沖縄県立  
博物館・美術館

沖縄県  
立埋蔵文化財センター

### 文化施設

首里染織館  
suikara

那覇市  
歴史博物館

沖縄県立  
芸術大学

まとめると…

**首里城公園の体験学習施設として、  
歴史文化の継承に寄与**

## 2. 管理運営体制について

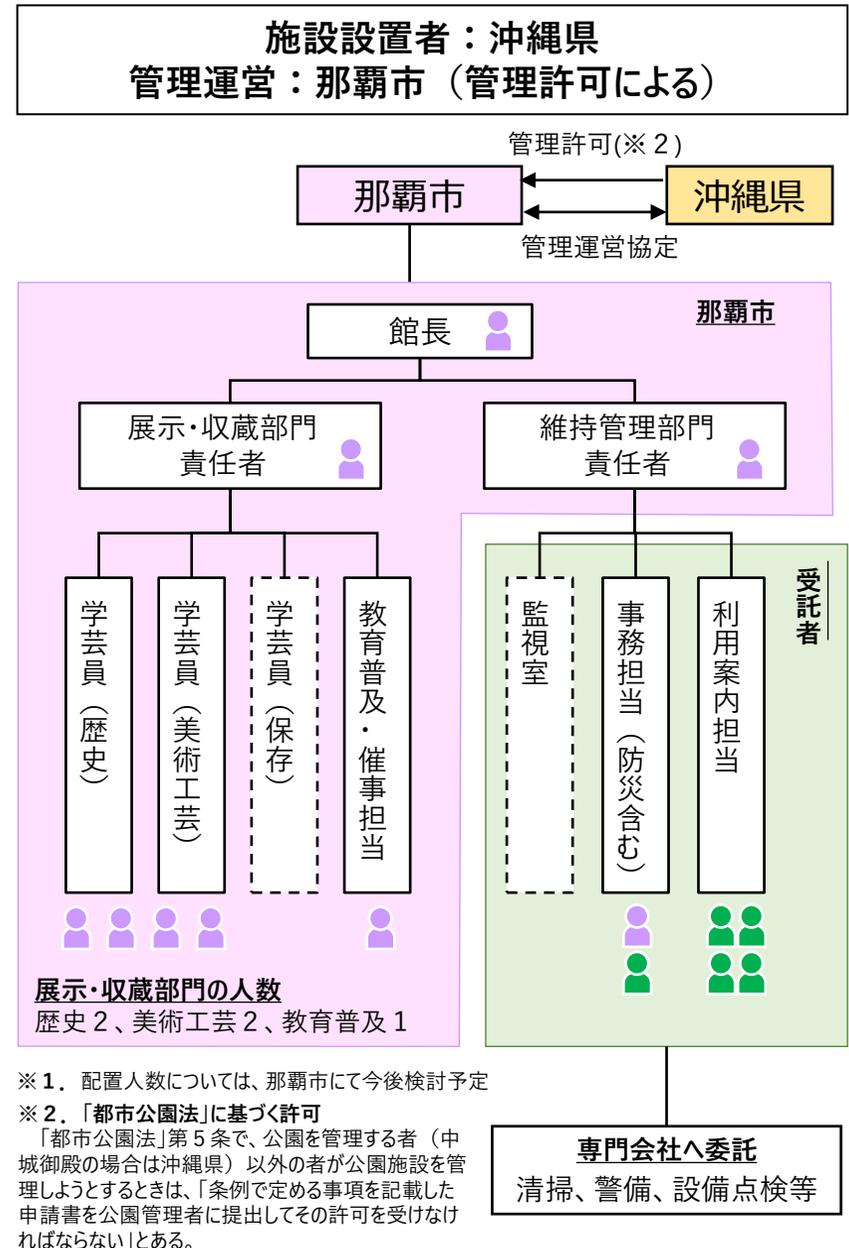
- 管理運営体制整備の方針や前提を踏まえ、体制を次のとおり検討中である。

### 中城御殿の管理運営について

- 沖縄県から管理許可を受け、那覇市が主体となって施設を管理運営する。
- 展示・収蔵部門は那覇市が直営する。施設の利用案内や清掃など一部の業務は専門会社等への委託も想定する。
- 沖縄美ら島財団は、中城御殿に収蔵する首里城関連美術工芸品を那覇市へ寄託し、那覇市が責任者として展示・収蔵部門を一元管理する。
- 沖縄美ら島財団は、資料の所有者として、那覇市の展示や資料の保存管理に対し連携する。
- 施設の管理運営等にあたっては、各主体間で協定等を交わし、責任所在の明確化と運営の円滑化を図るものとする。

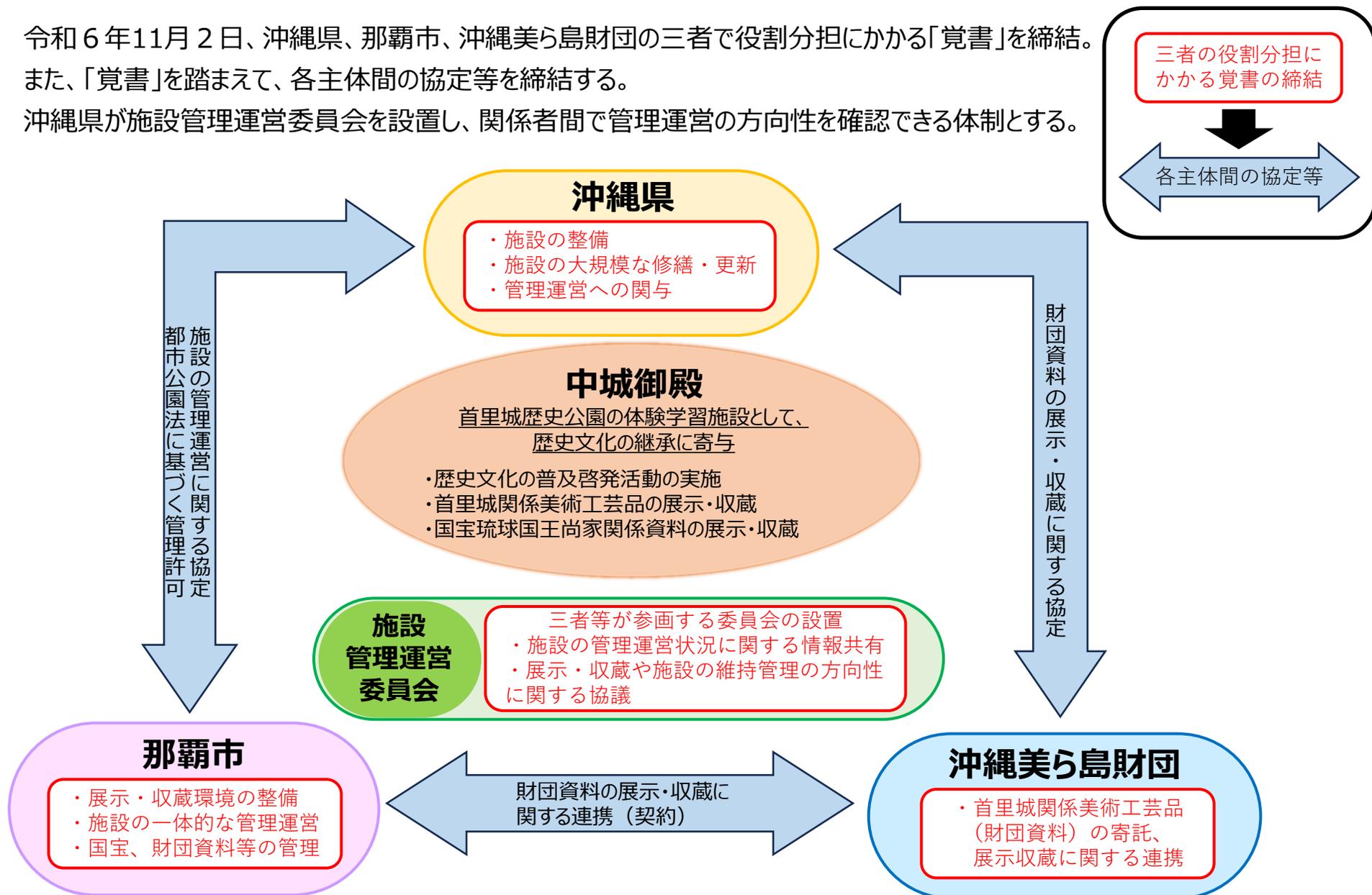
### この体制とした場合の利点

- 那覇市の一体管理体制となることで、管理責任の所在が明確となり、利用者サービス、施設防災、文化財管理の面で優位である。
- 国宝琉球国王尚家関係資料の所有者公開による、主体的な公開、展示企画運営が可能と考えている（今後、文化庁協議予定）。
- 展示・収蔵される資料や首里に関する歴史文化的知見を有する那覇市が管理運営の主体となることで、施設の魅力向上や、歴史文化の継承につながる。



## 2. 管理運営体制について

- 令和6年11月2日、沖縄県、那覇市、沖縄美ら島財団の三者で役割分担にかかる「覚書」を締結。
- また、「覚書」を踏まえて、各主体間の協定等を締結する。
- 沖縄県が施設管理運営委員会を設置し、関係者間で管理運営の方向性を確認できる体制とする。



### 3. 中城御殿の展示コンセプト（案）

- 国の技術検討委員会では、首里城公園全体のテーマを「つなぐ琉球王国—首里城に由来する歴史・文化・想いの継承—」と設定。城郭内では復元空間を展示物ととらえ、往時の空間を体感してもらうことに重きを置いた展示を行うこととしている。今回復元では、黄金御殿（2階）に展示室を設けて実物展示を行うことが計画されている。
- 中城御殿では、中城御殿が本来持つ歴史・文化的な意義・背景に加えて、首里城に象徴される琉球の歴史や文化について、展示資料を活用することにより、広い範囲で且つ内容を深掘りすることが期待される。
- 中城御殿の新たな展示コンセプトについては、首里城や王都・首里の拠点性をはじめ、アジアとの交流により育まれた王朝文化の背景を伝えるため、王都首里に加え、王朝文化や交易の玄関口となった港町・那覇を含めた「都市」と設定し、多様でバリエーションのある物語を展示のなかで発信することとする。

#### 【中城御殿展示コンセプト】

#### 琉球王国の栄華を巡る —王朝文化の拠点・「都市」の歴史—

#### 【ストーリーの時代設定】

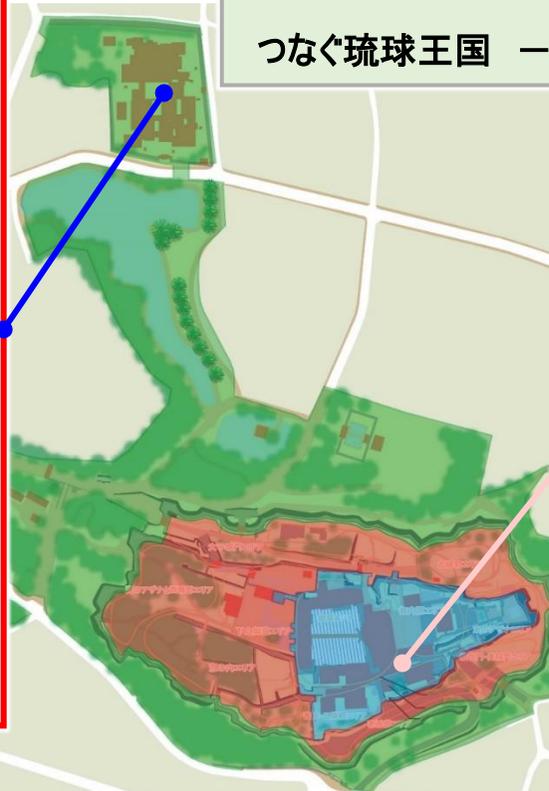
- 施設の復元年代にこだわらず、琉球王国時代等を含めた情報を広く発信

#### 【主に伝える内容】

- 琉球王国の歴史や文化について貴重な展示資料を活用することにより、物語性のある展示を行う。
- 首里城や王都首里の拠点性をはじめ、アジアとの交流により育まれた王朝文化の背景を伝える。
- 中城御殿に象徴される王家や王朝文化の魅力に加え、文化の中心地となる都市の歴史を含めて深掘りする。

#### 【首里城公園全体のテーマ】

つなぐ琉球王国 —首里城に由来する歴史・文化・想いの継承—



#### 【城郭内で優先するストーリー】

#### 琉球王国の中核である首里城の空間と営み

#### 【ストーリーの時代設定】

- 正殿復元年代を中心にしつつも、琉球王国時代（約450年）を伝える。

#### 【主に伝える内容】

- 復元空間を展示物ととらえ、往時の空間を体感してもらうことに重きを持つ。黄金御殿にて実物展示を行う。
- 琉球王国を象徴する内容、政治や祭祀儀礼の拠点であること
- 首里城の復元・復興に係ること

国営公園区域(城郭内) ■  
県営公園区域 ■  
有料区域(県管理) ■

# 3. 中城御殿の展示コンセプト（案）（令和3年度基本計画の更新）

※赤文字部分が今回更新箇所

## ■施設コンセプトと展示テーマ

<b>施設 コンセプト</b>	<b>琉球王家の屋敷と生活 – 王国末期から近代における琉球建築と王朝文化の継承 –</b> (首里の歴史・文化、首里城及び周辺の文化遺産、風格ある歴史的まちなみの再生) 復元整備の時代設定：1874（明治7）年～1945（昭和20）年	
<b>展示テーマ</b>	<b>R3時点</b> 琉球王家の屋敷、王家の生活文化 琉球王朝文化及び王都・首里に由来する琉球の文化遺産 ※復元年代にこだわらず、琉球王国時代等を含めた情報を広く発信	<b>更新案</b> <b>琉球王国の栄華を巡る</b> <b>— 王朝文化の拠点・「都市」の歴史 —</b> ※復元年代にこだわらず、琉球王国時代等を含めた情報を広く発信

表御殿東側エリア／上之御殿エリア

表御殿西側エリア／御内原エリア

**【復元展示】**  
琉球王家の屋敷と庭園  
首里城への眺望景観  
1874(明治7)年～1945(昭和20)年  
中城御殿の往時の建物や庭園・眺望  
そのものを鑑賞

- 建物・庭園・眺望景
- 調度品などのレプリカ展示
- パネル・映像などの展示
- 最新技術を含めた空間演出

※下線部は将来増築部分（表御殿東側エリア）で検討

**御内原エリア**  
**【常設展示・企画展示】**  
**「王都・首里」と「港町・那覇」を両輪に、**  
**躍動する都市・華開く王国文化**  
展示資料を中心に、多様な物語を発信  
(中城御殿や王家の歴史の詳細も含む)

- 国宝・琉球国王尚家関係資料
- 城郭内で展示していた美術工芸品
- 王族・士族等に関する資料
- 王朝文化の背景を物語る関連資料
- 企画展による他館からの借用

**表御殿西側エリア**  
**【インフォメーション・ガイダンス】**  
**中城御殿と王都・首里のまちなみ**  
中城御殿の歴史的背景や王都・首里のまちなみをガイダンス

- 中城御殿の施設概要（歴史的背景、空間構成、復元整備の経緯等）
- 首里城公園の案内
- 首里地域の案内・誘導
- 体験・交流、教育普及

### 3. (参考) 琉球王朝文化を形成した都市 (王都・首里と港町・那覇)

- 交易国家としてアジアの海に雄飛した琉球には様々な文化が行きかった。その結果、中国や日本の影響を受け、独自の文化が育まれた。その中心地となったのが、琉球王国時代の王都・首里と港町・那覇である。
- 首里は王城である首里城を中心に形成された王都で、王国の政治・文化の中心地だった。一方、王都・首里に対し、那覇は港町として発達し、冊封使節を迎える天使館や薩摩の役所（在番奉行所）等があった。また泊港を擁する泊村や中国からの渡来人の子孫が住む久米村も那覇に隣接していた。
- 首里城が立地する首里は、琉球の玄関口である港町・那覇とセットで機能し、琉球王国の都市として、王朝文化の発展の中心地となったのである。
- 現在の那覇市は首里・那覇・真和志・小禄という、4つの地域で形成されている。18世紀の真和志や小禄（当時は真和志間切、小禄間切）は都市近郊の農村として首里や那覇といった都市の生活を支えていた。



首里と那覇の主な歴史拠点とのネットワーク(イメージ)  
 図版出典：令和3年度第3回技術委員会資料5



18世紀末の首里・那覇・真和志・小禄  
 図版：那覇市提供資料(一部加筆)

# 4. エリア別展示構成 (令和3年度基本計画の更新)

※赤文字部分が今回更新箇所

王家の庭園と、ここから見晴らす首里城の眺望を楽しんで頂ける場。

## 上之御殿エリア

## 御内原エリア

貴重な展示資料を活用しながら、琉球王国及び文化の発展について多様な物語を発信

【インフォメーション・ガイダンス】  
中城御殿と王都・首里のまちなみ

多目的ホール (ガイダンス)  
中城御殿の施設概要、  
体験・交流、教育普及

ビジターホール  
中城御殿の案内、首里城公園や  
首里地域への案内

多目的ホール  
講座や体験学習

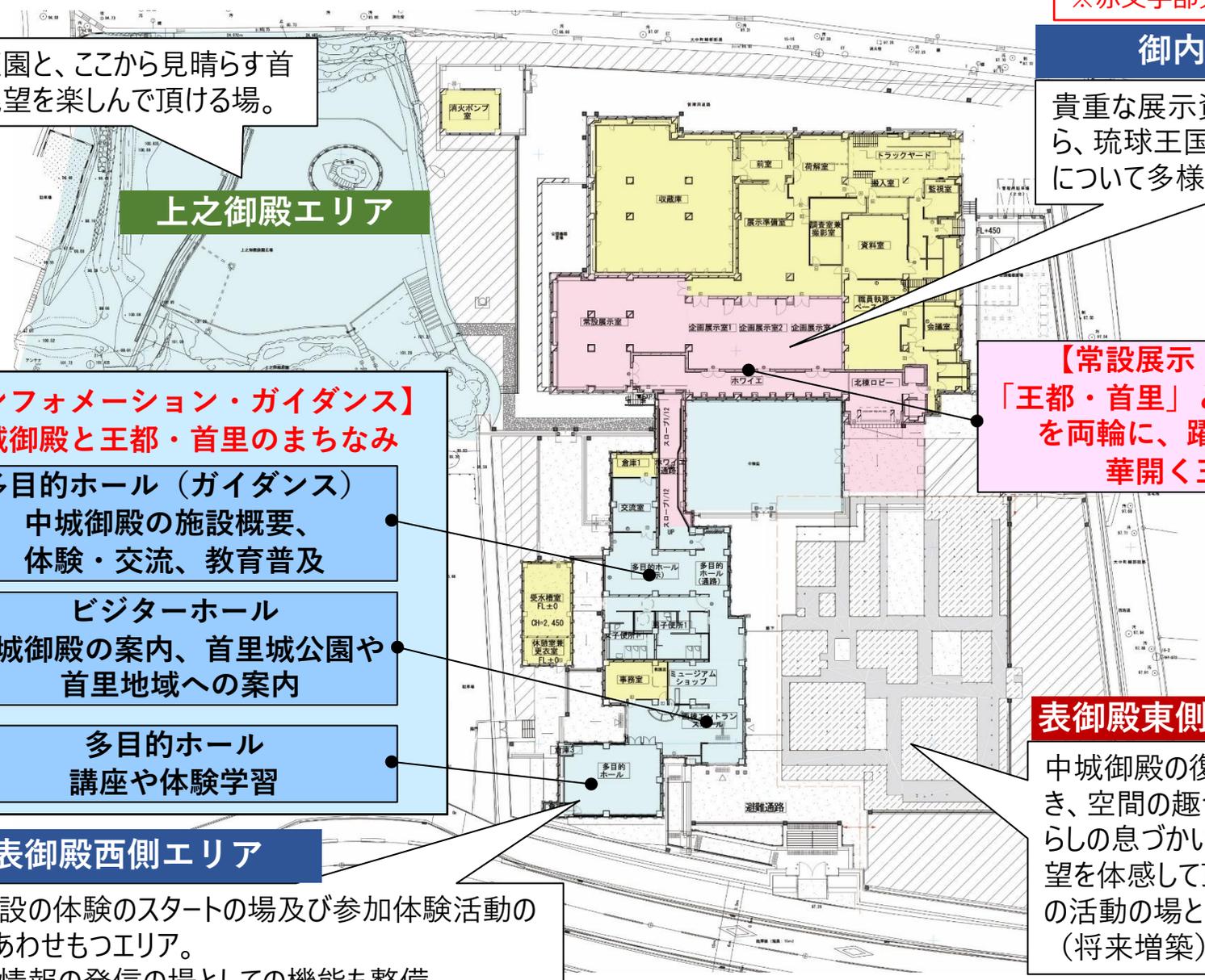
【常設展示・企画展示】  
「王都・首里」と「港町・那覇」  
を両輪に、躍動する都市・  
華開く王国文化

## 表御殿西側エリア

本施設の体験のスタートの場及び参加体験活動の場をあわせもつエリア。  
地域情報の発信の場としての機能も整備。

## 表御殿東側エリア

中城御殿の復元空間に身を置き、空間の趣や王家の往時のくらしの息づかい、及びここからの眺望を体感して頂く場。地域住民の活動の場としても活用。  
(将来増築)

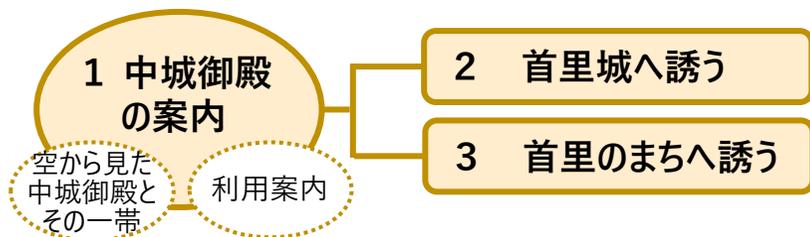


# 5. 表御殿西側エリア展示構成（案）（令和3年度基本計画の更新）

## ①ビジターホール（インフォメーション）

お客様を最初に迎える場。期待感を高め、ここから始まる体験にスムーズに誘うための情報提供と演出を行う。

《展示構成のイメージ》



展示構成	基本的な考え方
1 中城御殿の案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型の映像演出など期待感を高める魅力的な演出</li> <li>・基本的情報、施設の全体像や魅力等の情報</li> <li>・利用案内を伝える機能</li> </ul>
2 首里城へ誘う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首里城公園全体のインフォメーション、公園全体のマップ、施設構成、見どころ、利用案内、催事情報・</li> </ul>
3 首里のまちへ誘う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連史跡や施設などの情報</li> <li>・まち全体のマップ情報やおすすめ散策コースの案内、各施設・史跡などの見どころ、利用案内、催事情報</li> </ul>

「首里古地図」の利用も今後検討

※首里杜館展示と連携



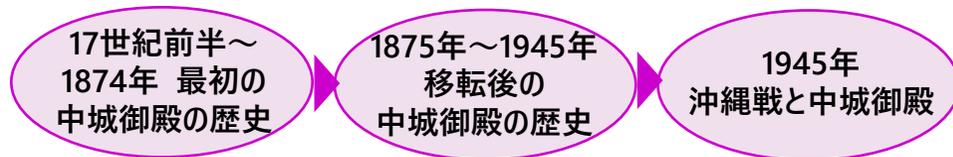
## ②体験交流ホール（ガイダンス）

中城御殿の歴史や復元経緯について、古写真や出土遺物、関連資料を交えながら紹介。

映像、音響、造形、体験装置など、多様な展示メディアも活用しながら、誰もが楽しく中城御殿の歴史や施設概要が理解できるよう留意する。

### ■計画イメージ

#### 1. 中城御殿の歴史



#### 2. 施設概要と復元経緯



基本計画時点の計画イメージを踏まえた更新案であり、今後、御内原エリア（常設展示・企画展示）との連続性を踏まえながら詳細を検討。

[ 首里古地図 ] 沖縄県立図書館所蔵 CC BY 4.0 (http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja)

## 6.首里城城郭内との展示の連携について（沖縄県案）

- 城郭内では復元空間を主とする展示を行い、中城御殿では展示資料を中心とする。特に中城御殿では、首里城や琉球王国の歴史や文化の背景を、展示資料を通じてより詳細に伝える。首里城公園全体をとおして、琉球王国の歴史や背景、王朝文化の魅力を伝える展示を行う。
- 展示資料については、中城御殿は国指定文化財の展示施設として、城郭内の利用者を中城御殿へ誘導する等、公園全体の一体利用を促進する。
- なお、沖縄県立博物館は、総合博物館として沖縄の自然史、考古、歴史、民俗及び美術工芸などの調査研究、収集、保存、展示する施設であり、今後、県関係施設として連携を図る。

### 首里城公園全体：琉球王国の歴史や背景、王朝文化の魅力を伝える展示

#### 中城御殿

##### 琉球王国の栄華を巡る

##### —王朝文化の拠点・「都市」の歴史—

貴重な展示資料を活用し、琉球王国の歴史や文化を体感できる物語性のある展示を行う。

#### 【常設・企画展示（御内原）】

- 展示資料を中心に首里城や琉球王国の歴史や文化の背景を伝える展示
  - 城郭内で展示していた美術工芸品（財団所蔵）
  - 国宝・琉球国王尚家関係資料等

#### 【ガイダンス（表御殿西側）】

- 中城御殿と王都・首里のまちなみをガイダンス

#### 首里城城郭内

##### 琉球王国の中核である

##### 首里城の空間と営み

復元空間を展示物ととらえ、往時の空間を体感してもらうことに重きを置いた展示

#### 【企画展示（黄金御殿）】

- 琉球国王や首里城の営み、城内の祭祀・儀礼に関する内容
- 国王の権威や王国のシンボルとなるモノ
- レプリカや模造復元品を基本に、オリジナルの美術工芸品も対象
  - 沖縄美ら島財団所有の美術工芸品の展示